

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

加藤 誠一 議員

Seiichi Kato



YouTube



行政区重視の施策と 今後について

▶地域の結びつきを大事にする施策を展開する

Q ゲートボール場(さくらスタジアム)整備についての取り組みは。

A 令和6年度策定予定のスポーツ施設ストック適正化計画策定に際し検討する。

Q 寒竹囲いの維持保存活動の支援にどのように取り組むのか。

A 地域コミュニティ活性化事業の補助制度が活用できるのではないかと考えている。



街路樹管理の課題と 今後の取り組みについて

Q 街路樹の意義、現状、今後の取り組みは。

A 街路樹は景観機能、環境機能、防災機能等を有し重要な役割を担っているが、倒木、強剪定により良好な樹形、緑陰効果の確保ができないなど課題も指摘されている。今後「緑の基本計画」策定に際し良好な都市景観の向上に向け適正な維持管理の在り方を検討する。



街路樹(草川地内)



文化財保存に向けて 令和6年度の取り組みについて

Q 蔵座敷(瀧澤家住宅)修理における県との協議状況は。

A 過疎化、少子高齢化など社会情勢を背景とする文化財の滅失や散逸また修理に関する技術伝承、修理費の増大が課題である。蔵座敷(瀧澤家住宅)については傷みが顕著であり早期に修理を要することから引き続き、県に修繕補助金の要望を強めていく。



蔵座敷(瀧澤家住宅)

その他の質問

- ◆ 学校給食センター運営に際しての課題、経費削減効果とその活用について
- ◆ 児童福祉法の改正施行にあたり、さくら市の認識と今後の取り組みについて



笹沼 昭司 議員
Shoji Sasanuma



YouTube

公共施設の予約について

▶ 公民館は4月からオンライン予約開始

Q さくら市公共施設予約システムでのオンラインによる公民館の予約は。

A 利用団体登録をすれば、ホールや研修室の空き情報を確認し、令和6年4月1日から予約できる。

Q 今後の課題は。

A 窓口で使用料納入する際のキャッシュレス決済対応、キャンセル時の返金方法や未導入施設の予約オンライン化である。



ご利用の手引き

さくら市公共施設予約システム

キャッシュレス決済ポイント事業について

Q キャッシュレス決済ポイント事業の成果と実績は。

A 市内商工業者から高い評価を得た。市内店舗のPayPay導入率は43.6%で県内1位となり、消費行動が大幅に増えた。また地元事業者のみを対象としたことで、地元事業者への支援として大きな効果があった。

Q PayPayキャッシュレス決済が使えない市民への配慮は。

A 委託事業者による操作説明会、PayPayアプリ使用法チラシの行政区回覧、市役所窓口での職員による対応などを実施した結果、60歳以上の方の利用割合が大きく増加した。



キャッシュレス決済ポイント事業

公共施設のトイレの洋式化について

Q 学校、市役所以外の公民館、図書館、スポーツ施設等の洋式トイレの整備の状況は。

A 公民館、図書館などは59.7%、スポーツ施設は40.2%、保健センター、福祉センター、児童センターは83.6%である。スポーツ施設の屋外トイレにおいては、衛生面の確保を図りつつ洋式化に取り組む。

Q 喜連川公民館の和式トイレの洋式化が遅れているが。

A 8か所すべてを令和6年度に洋式化する。

その他の質問

- ◆ 窓口における手数料、使用料のキャッシュレス決済対応について
- ◆ 給食センターの運営について



落合 千枝子 議員
Chieko Ochiai



YouTube

農業振興の具体的策について

▶ さくら市農産物売上向上対策総合支援事業として取り組む

Q 園芸作物の作付拡大の方策は。

A 農産物売上向上対策総合支援事業により、ビニールハウスや農業用機械、スマート農業機器の導入に対して補助を行い、園芸作物の生産振興を強化していく。

Q J Aとの協力関係について。

A 意見交換会などを行い、農業施策の展開に向け、今まで以上の協力体制で臨んでいく。

Q 園芸作物の販売方法は。

A 販売の支援も必要と考えPRを広く展開していく。

Q 農業×移住の確立方法は。

A 就農支援や機械・設備等、農業の助成制度に居住環境等、実現可能な手法も含めて取り組む。



ニラ(ハウス栽培)



井戸(ポンプ式)

災害時の対策について

Q 水や電気の確保方法は。

A 市民の皆様へ1人1日3リットルの水を最低でも3日分、可能であれば7日分備蓄していただくようお願いしている。停電対策は、本庁舎や道の駅きつれがわ、小・中学校体育館へ太陽光発電と蓄電池を導入し、防災拠点や避難所での電源確保に努めている。

Q 避難所ごとに発電機や井戸(ポンプ式)を用意できないか。

A 防災協定により発電機や電気自動車の供給が受けられる。また、自主防災組織支援事業補助金で購入した発電機、消防団車両に配備している発電機等をもって対応する。新たな井戸の設置は今後考慮の対象としていく。



大河原 千晶 議員
Chiaki Okawara



YouTube

Q 不登校の児童生徒が昨年度より増えているのに比例して「つばさ」の利用は増えたか。

A ここ6年ほど横ばい。

Q 「つばさ」の通級者数と収容人数は。

A 現在13人。収容人数は約20名程度。

Q フリースクールへの助成の考えは。

A フリースクールの運営に対する助成と個人に対する助成に分けて、今後とも調査研究を進めていきたい。



Q 栃木県は中学校において不登校の1,000人当たりの人数が全国一位である。むしろ率先して助成すべきでは。

A 教育委員会の考えを尊重し、そこに基づいて必要な予算をつけていく。

※ダイケン

正式名称は「ここからだの連絡帳 ダイケン」。学校などにおいて、子どもたちが、毎朝各自のタブレット端末で、心身の状態や先生への相談希望について回答するWebシステム。

子どもたちが「自分らしく」安心して学べる環境の確保を

一人ひとりに合った学びの場、能力に応じた教育機会の確保を目指す

Q 本市における不登校の児童生徒の状況は。

A 令和4年度は小学校で30人、中学校で102人。1,000人当たりの人数は、小学生が11人、中学生が79人で、小学生は減少したが、中学生は増加傾向。なお、栃木県全体の1,000人当たりの平均は小学生16人、中学生が70人。

Q 不登校の児童・生徒への支援は。

A 1、学校現場における未然防止、そして子どもたちの居場所づくり。2、組織の整備充実。3、人的配置。4、適応支援教室「つばさ」の充実。また新たな不登校対策として「1人1台端末を活用した健康観察・教育相談システム」※ダイケンを、令和6年度より試験的に導入する。

Q 「教育機会確保法」の「子どもたち一人ひとりに合った学びの場」をどう考えているか。

A すべての児童生徒が学校生活を豊かに送り、安心して教育を受けられるような学校環境を確保したいと考えている。



矢澤 功 議員
Isao Yazawa



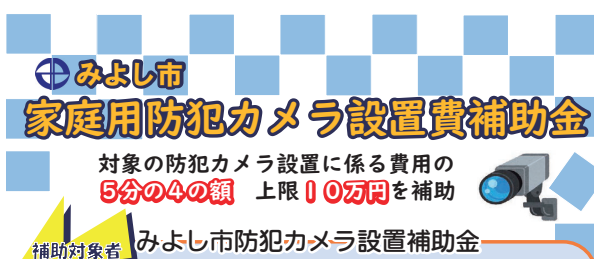
YouTube

11 防犯カメラ設置補助金制度の導入は

更に研究を重ねていく

Q 悪質な振込詐欺事件を始め、多様な犯罪が後を絶たず、全国的に防犯意識は高まっている。県内でも6市で行政区や商店街に対して補助金制度があるが、さくら市が安心安全な町として移住者、定住者拡大のPRの為に、他市に先駆けて個人の希望者にも制度の導入を検討してみては。

A 先ずは県内各市の設置基準などを視野に、行政区又は商店街を対象とした設置補助に向けて検討して行く。



その他の質問

◆市政運営について

- (1)人事評価制度について
- (2)庁内各種会議について
- (3)職員とのコミュニケーション

11 蒲須坂駅周辺開発について

Q 蒲須坂駅はさくら市の貴重な財産であり、宝であり、市長は今年の市政方針として「動」の姿勢で臨むと明言しているが、駅前開発についてどのような施策を考えているのか。

A 令和6年度から中心街の機能強化の対象地区として、氏家駅周辺、喜連川市街地と蒲須坂駅前の3地区を指定した。農業振興地域を含む場所であり、区画整理事業としての開発は時間と減歩率の問題があって難しい。市としては道路、水路の整備、併せて公園や新たな公共施設や民間企業の積極的な誘致なども図って、中心街の機能強化を実現するよう取り組む。



議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

どうなったんべ あの質問は

ふるさと納税について

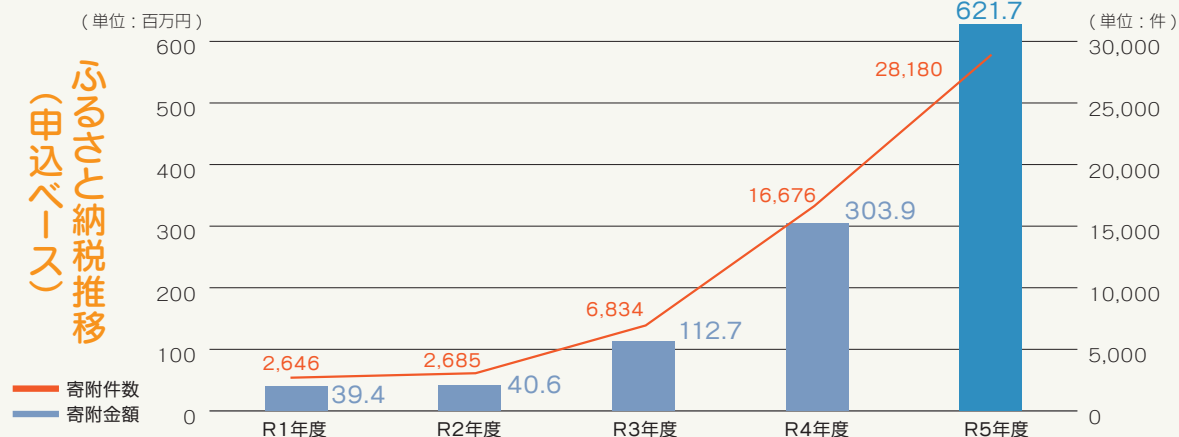
平成26年 第1回定例会
平成27年 第1回定例会

現状は…

本市では、平成20年度からふるさと納税を開始し、寄附者の善意に期待して事業を展開していたことから、令和元年度時点では、年間の寄附件数は2,646件で額は約4,000万円でした。ふるさと納税の制度がメディアで大きく取り上げられ、さくら市民の他自治体への寄附が増加する中、さくら市でも寄附の獲得に向け、事業に注力する事としました。

今後は…

寄附額の増加のため、返礼品の種類・品数の充実、ポータルサイトの拡充を図りながら、本市の魅力を全国にPRすることで、令和4年度には、寄附額が3億円を超える額となりました。現在、ウィスキーやいちごの返礼品が人気となっており、その品質の良さからリピーターが増加し、令和6年3月末時点では28,180件で6億2,000万円を超える寄附額となりました。



● 議会レポート

塩谷市町村議会議長会 行政懇談会

1月26日
・福田 克之 議長
・加藤 朋子 副議長
・加藤 誠一 議員
・落合 千枝子 議員
・高瀬 一徳 議員
・吉田 雄次 議員
・大河原 千晶 議員
・岡村 浩雅 議員
・笹沼 昭司 議員
・永井 孝叔 議員
・若見 孝信 議員
・石岡 祐二 議員
・渋井 康男 議員
・鈴木 恒充 議員
・角田 憲治 議員
・小堀 勇人 議員
・矢澤 功 議員

県央6市議長会議

1月29日
・福田 克之 議長

全国市議会議長会 理事会・評議員会合同会議

2月8日
・福田 克之 議長

県北五市議長会議

2月19日
・福田 克之 議長
・加藤 朋子 副議長

各種委員会等出席

● 保育園運営審議会

1月17日
・吉田 雄次 議員
・小堀 勇人 議員

● 表彰審査委員会

1月18日
・福田 克之 議長
・加藤 朋子 副議長
・大河原 千晶 議員

● 塩谷広域行政組合議会 議員会・全員協議会・定例会

2月16日
・福田 克之 議長
・笹沼 昭司 議員
・石岡 祐二 議員
・鈴木 恒充 議員
・小堀 勇人 議員

監 査

● 例月現金出納検査

1月30日・3月1日・25日
・渋井 康男 議員

● 定期監査

1月30日・2月2日・7日・
13日・15日
・渋井 康男 議員

視察等来訪

1月17日
宮崎県小林市議会議会運営委員会の委員ほか11名が「議会運営全般、オンライン委員会」について視察に訪れました。



1月26日
栃木県高根沢町議会まちづくり常任委員会の委員ほか9名が「自治体加入対策」について視察に訪れました。



2月19日
栃木県鹿沼市議会の議員4名が「タブレットの使用」について視察に訪れました。



● 議会の動き

1月

7日 さくら市二十歳のつどい
8日 塩谷町役場新庁舎開庁記念講演会&展示会
10日 市立中学校国際交流事業（アメリカ派遣）出発式
11日 議会広報委員会
12日 千葉県印西市議会会だより編集委員会視察来訪
13日 平山郁夫展開幕式
コンサーレ新春賀詞交歓会2024
第13回福祉講演会
17日 保育園運営審議会
宮崎県小林市議会議会運営委員会視察来訪
喜連川新春のつどい

18日 議員全員協議会

表彰審査委員会
19日 議会広報委員会
区長会賀詞交歓会
24日 議会広報委員会
氏家商工会新春賀詞交歓会

25日 議員全体研修会

26日 栃木県高根沢町議会まちづくり常任委員会視察来訪
塩谷市町村議会議長会行政懇談会
27日 宇治平等院 神居文彰を囲む会
28日 都市対抗駅伝出発式
平山郁夫展講演会
29日 県央6市議長会議
30日 例月現金出納検査

2月

2日 市立中学校立志式
3日 氏家雛めぐり開会式
喜連川神社追儺祭
国際交流講演会
今宮神社節分祭
4日 第19回さくら市武道大会
塩谷保護区保護司会主催 公開研修会

2月

6日 議員全員協議会

8日 全国市議会議長会 理事会評議員会合同会議

9日 議員全員協議会

議会運営委員会

11日 養徳園感謝の会

16日 自治功労者表彰式

塩谷広域行政組合議会議員会・全員協議会・議会定例会

19日 栃木県鹿沼市議会視察来訪

県北五市議長会議

21日 第1回定例会開会

議会広報委員会

22日 第1回定例会一般質問

23日 第19回さくら市マラソン大会～日本三大美肌の湯ハーフマラソン～

26日 第1回定例会一般質問

28日 建設経済常任委員会

29日 総務常任委員会

3月

1日 例月現金出納検査
4日 文教厚生常任委員会
5日 予算決算常任委員会（建設経済常任委員会所管）
6日 予算決算常任委員会（文教厚生常任委員会所管）
7日 予算決算常任委員会（総務常任委員会所管）
8日 市立中学校卒業式
9日 市立中学校国際交流事業（アメリカ派遣）帰国報告会
11日 予算決算常任委員会（令和5年度補正予算）
14日 「みどりの食料システム戦略」講演会
15日 第1回定例会閉会
18日 市立あおぞら保育園開園式
19日 市立小学校卒業式
23日 第27回栃木日展作家展オープニングセレモニー
25日 例月現金出納検査
30日 第2回大志桜まつり
さくら市スポーツ協会総会並びに研修会

地域に根差す
クラブを目指して市民
の声

喜連川FC Jr

代表 蛭田 稔 (喜連川中央)

喜連川FC Jrは、「Let's enjoy football.」をコンセプトにした少年サッカーチームです。現在、市内の小学生 36 名の男女が加入しています。また、近年は若干の中学生も受け入れています。

誰もがプレーできるチームとして、技術、体力の向上を目指すことはもちろんですが、小学生の運動経験の場を確保すること、様々な地域から集まる小学生の「横のつながり」を紡ぐことを大切にしています。

また、喜連川FC シニア※(O-40・50)のプレーヤーが、指導スタッフとして数名関わっているという「縦のつながり」もあります。今後、中学生や O-40、O-50 のチームとの交流も、推進していきたいと考えています。

市議会の皆様へは、さくらグリーンフィールド等スポーツ施設の充実をお願いします。



活動の様子

※ サッカーのカテゴリーの種類。40歳以上の部、50歳以上の部。

《表紙写真》
喜連川FC Jr

対象：市内在住の小中学生

内容：サッカー

お問い合わせ：蛭田 稔

☎090-4223-4512

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体さんを募集しています。ご興味がある方は右記さくら市議会事務局までお問い合わせください。

議会広報委員会



落合 千枝子

委員長
加藤 朋子副委員長
大河原 千晶

鈴木 恒充

お知らせ

次回 6月定例会予定

6月4日(火)～6月20日(木)

一般質問 6月5日・6日・7日

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。

●議員年金について

平成23年6月1日をもって廃止されました。

●政務活動費について

さくら市議会は支給されておられません。